

平成 18 年度 三条市立図書館運営計画（案）

1 基本方針

- ・合併により設置された分館・分室網のネットワークの強化を図ると共に、平成 19 年度に予定されている下田分館の新館整備に向けた準備を進めます。
- ・より一層の資料の充実を図り、その積極的な活用に努めると共に、最新の情報技術を取り入れ、情報化社会に対応した資料の提供を行います。
- ・本年 3 月に策定された「三条市子ども読書活動推進計画」を推進するため、各種児童サービスの充実を図ると共に、学校、保育所や地域との連携を強化します。
- ・読書会の開催や展示ホールの運営により、生涯学習拠点としての機能充実に努めると共に、ボランティアとの協働による事業展開や、ボランティア団体同士の交流の促進に努めます。

2 運営の重点方針

(1) 分館・分室の図書館活動の推進及びネットワークの充実

広報誌の発行や「おはなし会」等の分館行事の充実を図ります。また、本館を始め、栄分館・下田分館・嵐南公民館分室・漢学の里分室のネットワークの強化を図り、資料の効率的な利用促進や利便性の高い図書館サービスに努めます。

(2) 資料収集及び整理の充実等

専門書や郷土資料の充実を図ると共に、引き続き、図書資料の C D - R O M 化など電子資料による保存や情報の提供を進めます。

郷土資料の分類の見直しを進め、わかりやすい資料提供に努めます。

高齢者や障害者に対する各種資料（大型活字本、音訳テープ、布絵本等）の充実を図ります。

(3) 子どもの読書活動の推進

「おはなし会」等の行事の充実を図ると共に、専門職員による読書相談やブックリストの作成、広報の充実に努めます。また幼児期から本に親しんでもらうためにブックスタート事業を継続して実施します。

小・中学校、幼稚園、保育所等との連携を深め、学校訪問やお話の出前サービス、出張講座の開催等により、地域と一体となった子どもの読書普及を図ります。また、学校図書館との連携を深めるため、スクールアシスタントの研修・交流会を引き続き開催します。

「三条市子ども読書活動推進計画」における各種事業を推進します。

(4) ボランティアの育成とネットワークの強化

ボランティアメニューの一層の充実を図り、幅広い世代の図書館ボランティアの育成及び活用に努めます。また、読み聞かせボランティア団体等の交流を促進し、ネットワークを構築するための支援を行います。

(5) 読書会の充実と展示ホールの活用

市民の知的欲求に即応した読書会の開催を図ります。

市民に親しまれた展示ホールとして利用してもらうため、関係団体の利用の促進及び広報等による一般公募の活用に努めます。

(6) 自動車文庫の活用

合併により拡大したエリアを中心にステーションの拡充に努めます。また、学校や福祉施設等公共施設を中心に、効率的かつ機動性を活かした貸出サービスの充実を図ります。